

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公開番号】特開2010-134078(P2010-134078A)

【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-308372(P2008-308372)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 G 3/20 6 2 3 V

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/1345

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月25日 (2011.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

M（但し、M は 2 以上の自然数）本毎にブロック化された複数のデータ線と、
該複数のデータ線に夫々対応する複数のスイッチを含み、前記ブロック毎に 1 本のデータ線を、選択信号に応じて選択して、画像信号を前記選択したデータ線に出力する選択回路と、

前記複数のデータ線の配列方向に沿って延びる配線部分を夫々有しており、前記選択信号が夫々供給される M 本の選択信号供給線と、

前記複数のデータ線の配列方向に交わる方向に沿って夫々延びると共に、前記スイッチと前記選択信号供給線の配線部分とを電氣的に接続し、互いに同じ膜構成、配線長及び配線幅を有する複数の引出配線と

を備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記複数の引出配線は、

前記選択信号供給線よりも第 1 層間絶縁膜を介して上層側に配置された第 1 引出配線層と、

前記選択信号供給線よりも第 2 層間絶縁膜を介して下層側に配置されると共に、前記第 1 引出配線層と互いに電氣的に接続された第 2 引出配線層と

を夫々有することを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記選択信号線よりも前記第 1 層間絶縁膜を介して上層側に配置され、前記引出配線に沿って延びる配線部分を夫々有し、前記選択回路へ前記画像信号を夫々供給する複数の画像信号線を備え、

前記第 2 引出配線層は、平面的に見て前記画像信号線と少なくとも部分的に重なるように、前記第 1 引出配線層よりも幅広に形成される

ことを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

前記引出配線と前記スイッチとを電氣的に接続する選択信号入力線は、前記選択信号供給線と同一膜からなることを特徴とする請求項 3 に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の電気光学装置を具備してなることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の電気光学装置は上記課題を解決するために、M（但し、M は 2 以上の自然数）本毎にブロック化された複数のデータ線と、該複数のデータ線に夫々対応する複数のスイッチを含み、前記ブロック毎に 1 本のデータ線を、選択信号に応じて選択して、画像信号を前記選択したデータ線に出力する選択回路と、前記複数のデータ線の配列方向に沿って延びる配線部分を夫々有しており、前記選択信号が夫々供給される M 本の選択信号供給線と、前記複数のデータ線の配列方向に交わる方向に沿って夫々延びると共に、前記スイッチと前記選択信号供給線の配線部分とを電氣的に接続し、互いに同じ膜構成、配線長及び配線幅を有する複数の引出配線とを備える。